



報道関係者 各位

新型インフルエンザによる重症例の発生について

9月25日、東京都より、新型インフルエンザによる重症例の発生について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成 21 年 9 月 25 日
東京都感染症対策本部
福祉保健局

新型インフルエンザに関する東京都の対応等について(第 202 報)

(新型インフルエンザによる重症例の発生について)

平成 21 年 9 月 25 日、都内保健所から、新型インフルエンザによる重症肺炎のため人工呼吸器を装着した患者の報告が 2 件ありましたので、当該事例の概要等につき、以下のとおりお知らせします。

【1例目:概要】

患者は都内在住の 1 歳男子。平成 21 年 9 月 19 日より 38.0℃の発熱が出現。近医を受診し、インフルエンザの診断でタミフルの内服を開始したが、帰宅後、喘鳴が増強したため、同日夕方、別の医療機関を受診した。肺炎と著名な低酸素状態が認められ、緊急の気管内挿管後、人工呼吸器管理のため転院となった。転院後実施したインフルエンザ迅速キットで A 型陽性であったため、9 月 24 日に遺伝子検査を実施し、新型インフルエンザが確定した。

現在、人工呼吸器装着中。抗生物質を投与中。容態は安定している。基礎疾患なし。

【2例目:概要】

患者は都内在住の 4 歳男子。平成 21 年 9 月 22 日より 39.0℃の発熱が出現し、9 月 23 日、医療機関を受診したところ、胸部エックス線写真上、肺炎を認めたため入院となった。インフルエンザを疑いタミフルの内服を開始したが、呼吸状態が悪化したため、人工呼吸器を装着した。9 月 24 日、3 度目のインフルエンザ迅速キットで A 型陽性であったため、遺伝子検査を実施し、新型インフルエンザが確定した。

現在、人工呼吸器装着中。抗生物質を投与中。容態は安定している。基礎疾患なし。